

水資源保護・千鳥ヶ池浄化広報プロジェクト

創立 15 周年記念実行委員会委員長

社会奉仕委員会委員長 河崎 高麗男

2008 年 5 月 31 日。旭川市内常磐公園千鳥ヶ池淵に『守るも汚すも私たち、水は私たちの宝物』と市民の利用者に呼び掛けるロータリー活動の広報看板を建立した。



我々旭川の市民は、大雪山連邦の伏流水で命をつないでいる。その水は豊富でおいしく、お肌にも良いところから、旭川は美人が多いともいわれています。

このように素晴らしく水の名所として誇れる旭川であるのに市民の憩いの場所「千鳥ヶ池」だけがなぜ汚れているのでしょうか。

旭川モーニングロータリークラブでは創立 5 周年には池のほとり藤棚のある東屋にテーブルとベンチを寄贈した。牛朱別川に流れていたパルプの廃液も今は地下を通り鉄橋下流に放流され臭いもしなくなった。

なのに常磐公園千鳥ヶ池は濁り悪臭もあり、池の浄化を市民が考える時期に来ていると、前年度 2007 年 11 月 12 日、児童生徒の皆様のアイデアで大人の目を覚まさせて下さる事を願って『旭川千鳥ヶ池浄化・夢とアイデア作文コンクール』を開催した。作文募集。応募された全ての作品はすべて賞に与える出来栄えで入賞作品集を作成して、





西川将人旭川市長を始め各関係機関部署に配布、常磐公園千鳥ヶ池浄化を呼び掛け喚起させて頂きました。

今年度クラブ社会奉仕委員会として、創立15周年を迎えるにあたり記念事業として、更に市民のみなさんへの意識を喚起してもらうため『水資源保護・千鳥ヶ池浄化広報プロジェクト』を企画。旭川市内中心にある千鳥ヶ池の浄化を市民に呼び掛けるとともに、旭川市の行政として喚起行動を求め、



環境問題の意識が高められ、ロータリー活動が理解認識されると共に、澄みきった清い千鳥ヶ池の実現を目指して、デザインから施工・製作まですべてクラブ内ロータリアンが関わり完成させ常磐公園千鳥ヶ池洲に設置した。完成した広報モニュメントは2008年6月21日創立15周年記念式典席上にて西川将人旭川市長に寄贈させて頂いた。

ロータリアン全員で作り上げた広報モニュメント設置作業風景





